

2012(平成24)年4~6月期四半期別GDP速報 (1次速報値)

Quarterly Estimates of GDP: Apr. ~ Jun. 2012 (The First Preliminary Estimates)

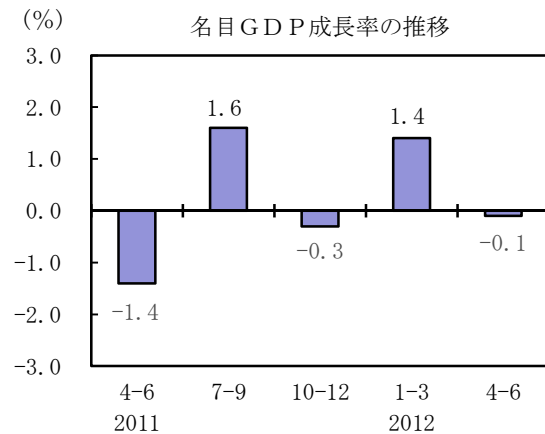
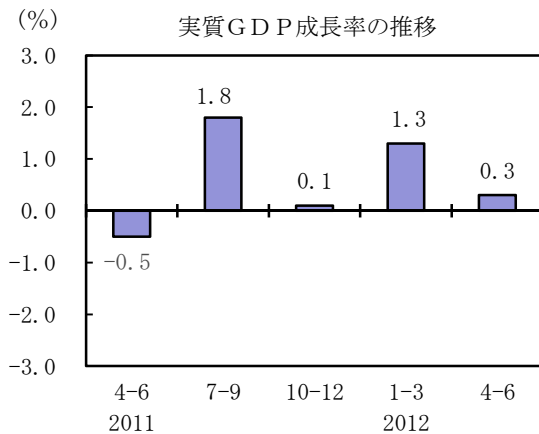
平成24年8月13日
内閣府経済社会総合研究所
国民経済計算部

I. 国内総生産（支出側）及び各需要項目

1. ポイント

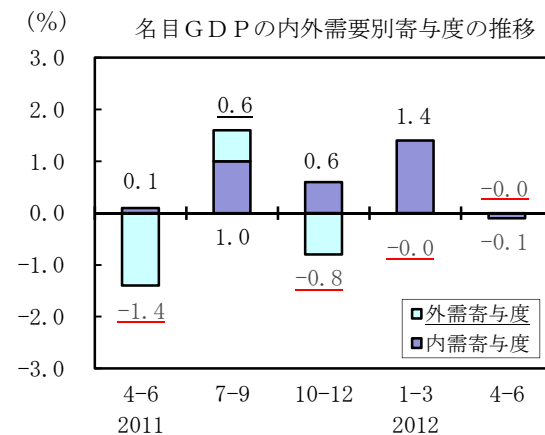
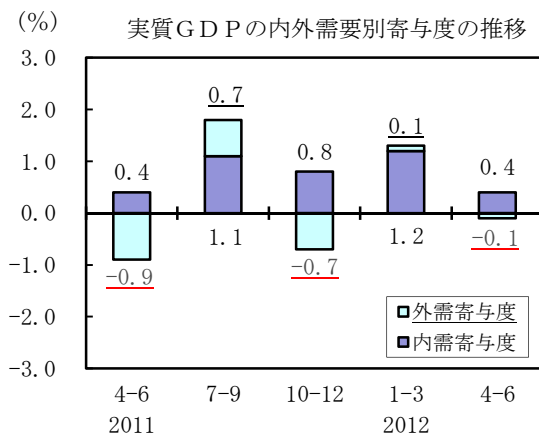
[1] GDP成長率（季節調整済前期比）

2012年4~6月期の実質GDP（国内総生産・2005暦年連鎖価格）の成長率は、0.3%（年率1.4%）となった。また、名目GDPの成長率は、▲0.1%（年率▲0.6%）となった。



[2] GDPの内外需別の寄与度

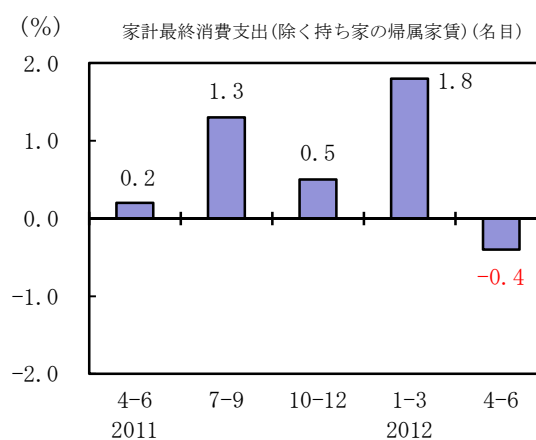
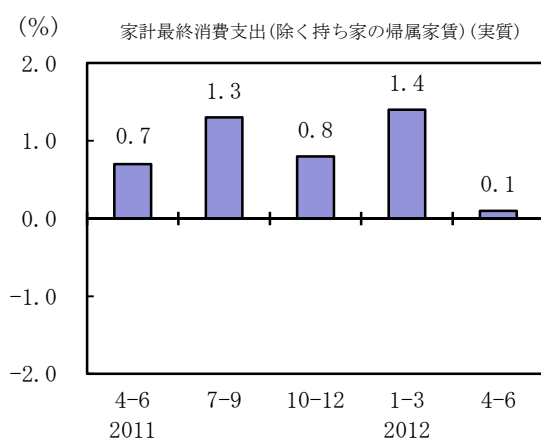
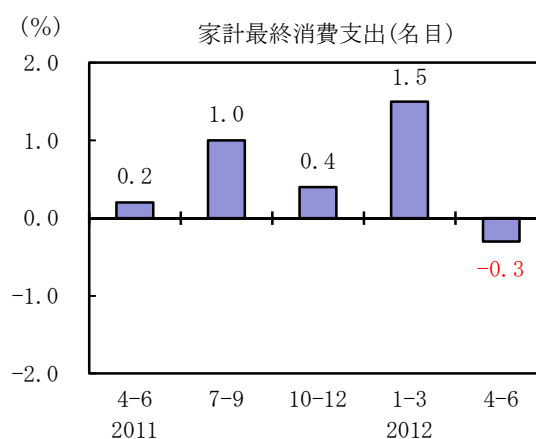
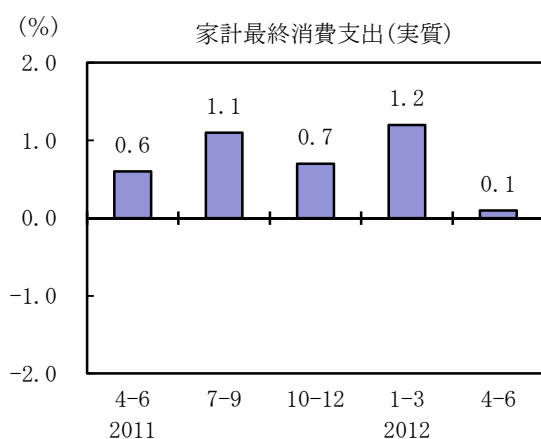
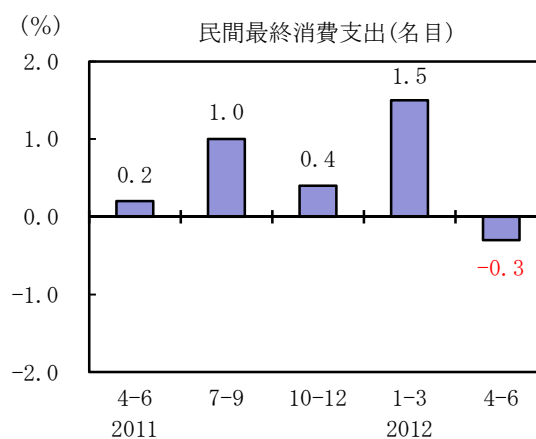
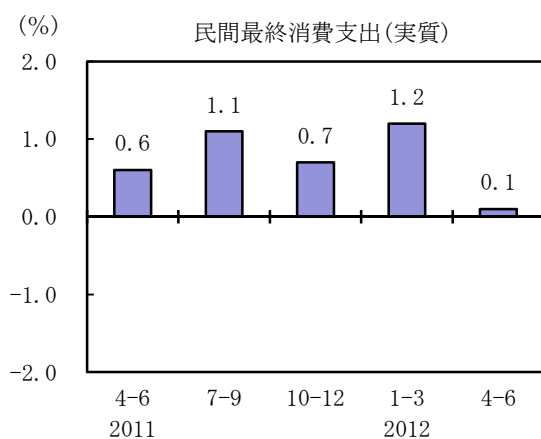
GDP成長率のうち、どの需要がGDPをどれだけ増加させたかを示す寄与度で見ると、実質は国内需要（内需）が0.4%、財貨・サービスの純輸出（輸出－輸入）が▲0.1%となった。また、名目は国内需要（内需）が▲0.1%、財貨・サービスの純輸出（輸出－輸入）が▲0.0%となった。



[3] 需要項目別の動向（季節調整済前期比）

(1) 民間需要の動向

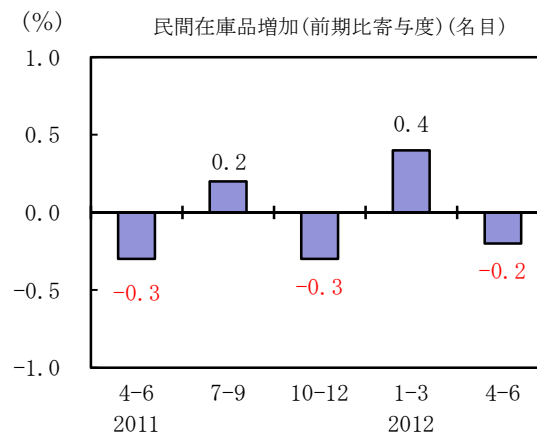
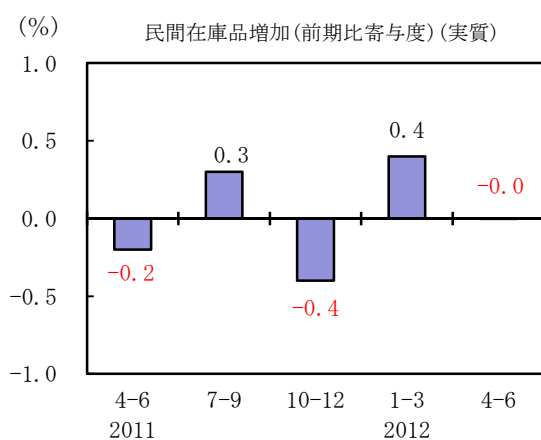
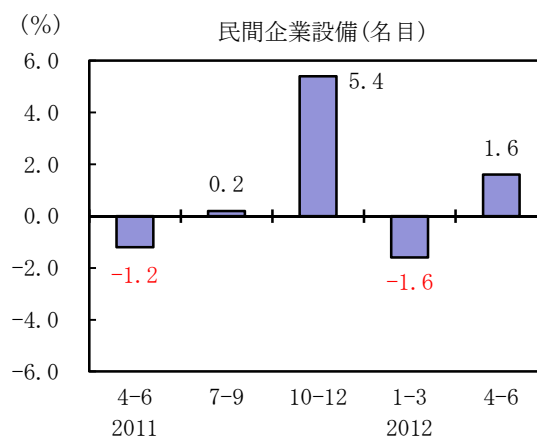
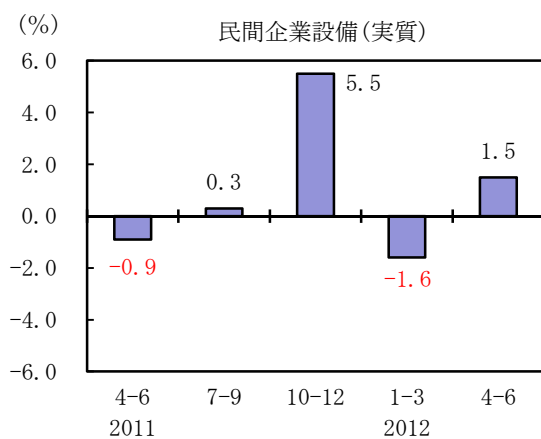
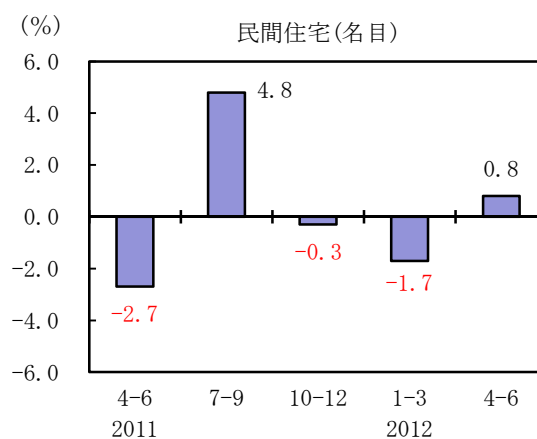
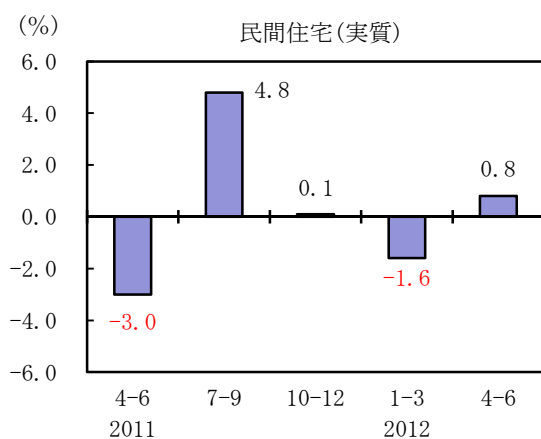
民間最終消費支出は、実質0.1%（1～3月期は1.2%）、名目▲0.3%（1～3月期は1.5%）となった。そのうち、家計最終消費支出は、実質0.1%（1～3月期は1.2%）、名目▲0.3%（1～3月期は1.5%）となった。家計最終消費支出（除く持ち家の帰属家賃）は、実質0.1%（1～3月期は1.4%）、名目▲0.4%（1～3月期は1.8%）となった。



民間住宅は、実質0.8%（1～3月期は▲1.6%）、名目0.8%（1～3月期は▲1.7%）となった。

民間企業設備は、実質1.5%（1～3月期は▲1.6%）、名目1.6%（1～3月期は▲1.6%）となった。

民間在庫品増加の成長率に対する寄与度は、実質▲0.0%（1～3月期の寄与度は0.4%）、名目▲0.2%（1～3月期の寄与度は0.4%）となった。

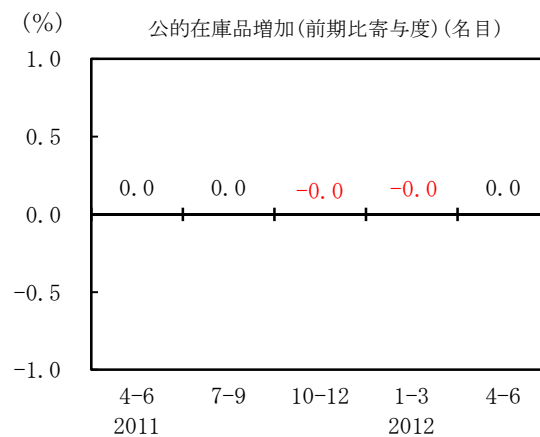
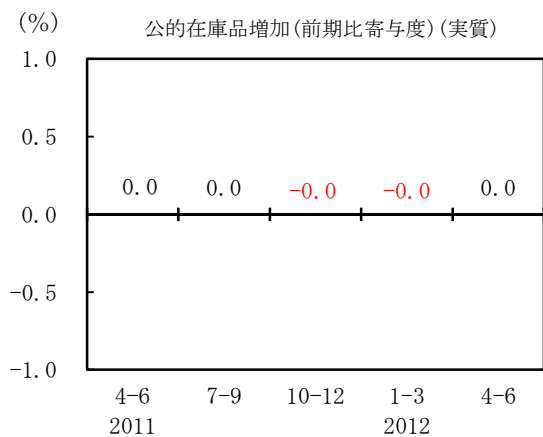
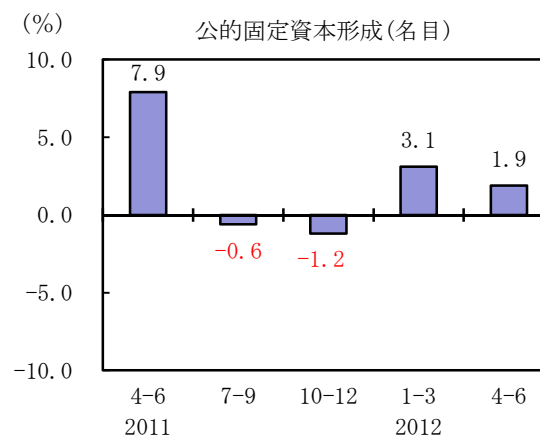
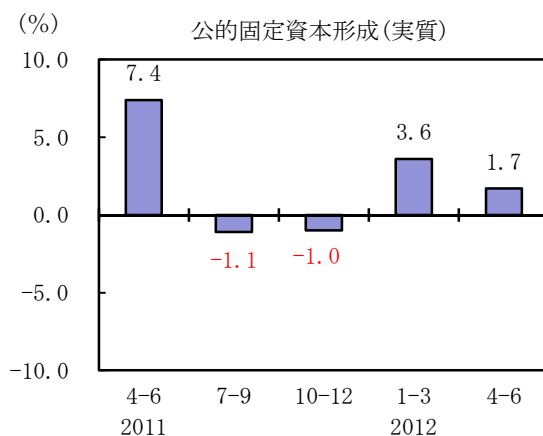
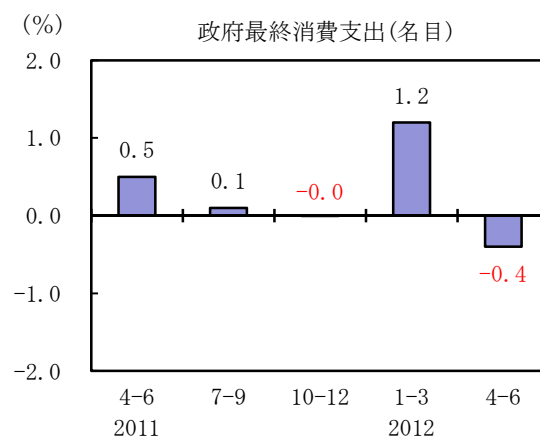
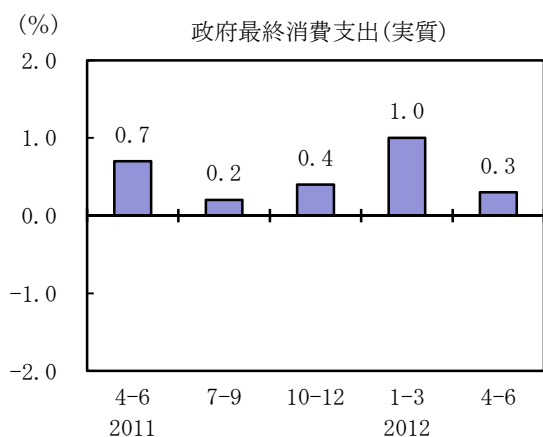


(2) 公的需要の動向

政府最終消費支出は、実質0.3%（1～3月期は1.0%）、名目▲0.4%（1～3月期は1.2%）となった。

公的固定資本形成は、実質1.7%（1～3月期は3.6%）、名目1.9%（1～3月期は3.1%）となった。

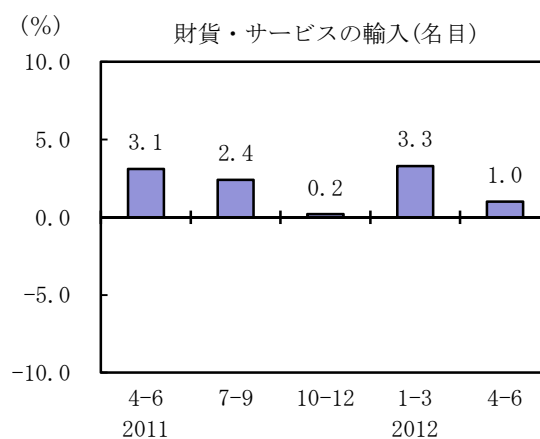
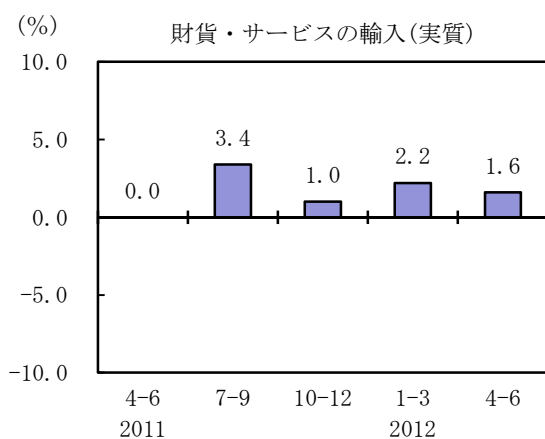
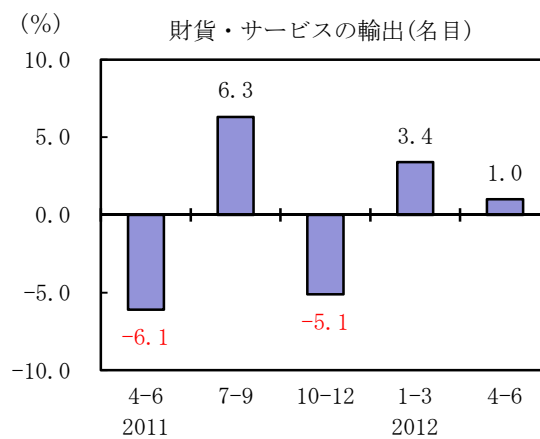
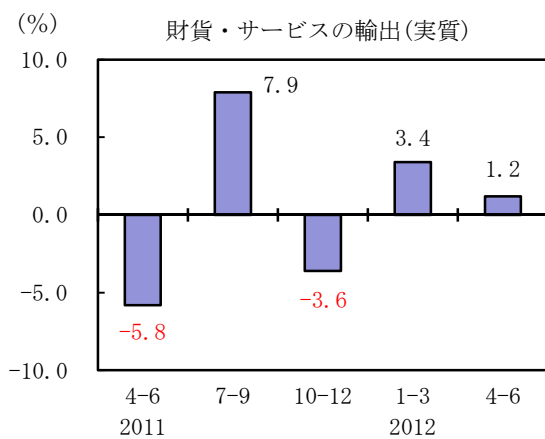
公的在庫品増加の成長率への寄与度は、実質0.0%（1～3月期の寄与度は▲0.0%）、名目0.0%（1～3月期は▲0.0%）となった。



(3) 輸出入の動向

財貨・サービスの輸出は、実質1.2%（1～3月期は3.4%）、名目1.0%（1～3月期は3.4%）となった。

財貨・サービスの輸入は、実質1.6%（1～3月期は2.2%）、名目1.0%（1～3月期は3.3%）となった。



[4] デフレーターの変動

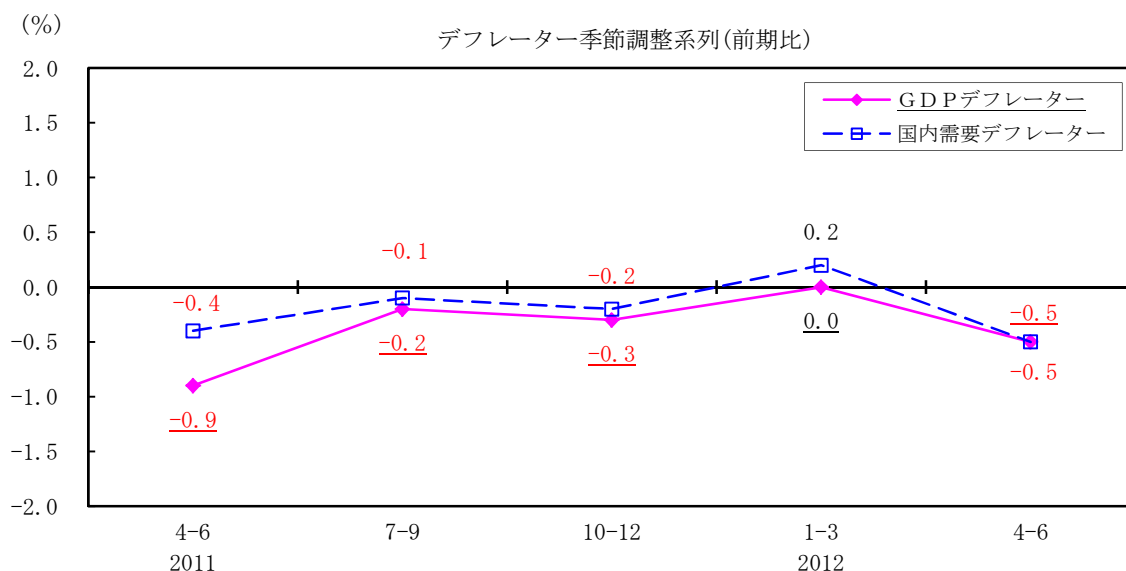
(1) 四半期デフレーター季節調整系列(注) (前期比変化率)

GDPデフレーターは、▲0.5% (1~3月期は0.0%) となった。

国内需要デフレーターは、▲0.5% (1~3月期は0.2%) となった。

財貨・サービスの輸出デフレーターは▲0.2% (1~3月期は▲0.0%)、財貨・サービスの輸入デフレーターは▲0.6% (1~3月期は1.1%) となった。

(注) 四半期デフレーター季節調整系列 = (名目季節調整系列 / 実質季節調整系列) × 100

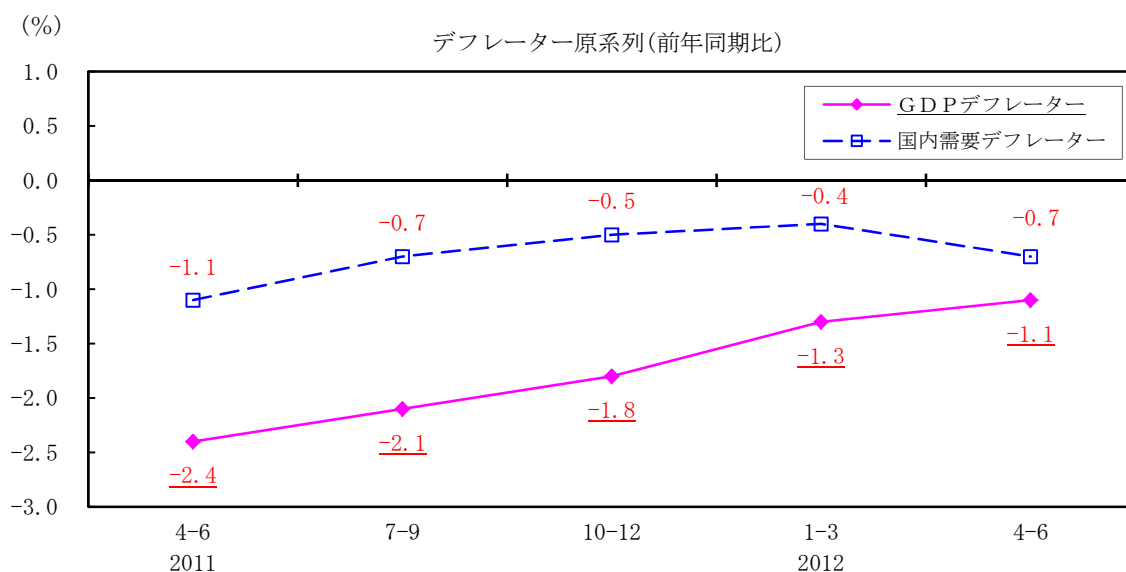


(2) 四半期デフレーター原系列(前年同期比変化率)

GDPデフレーターは、▲1.1% (1~3月期は▲1.3%) となった。

国内需要デフレーターは、▲0.7% (1~3月期は▲0.4%) となった。

財貨・サービスの輸出デフレーターは▲3.2% (1~3月期は▲2.9%)、財貨・サービスの輸入デフレーターは▲1.3% (1~3月期は2.7%) となった。



[5] 2011年度のGDP

2011年度の実質GDP成長率は▲0.0%、名目GDP成長率は▲2.0%となった。2011年度のデフレーターについては、GDPデフレーターが▲1.9%、国内需要デフレーターが▲0.7%となった。GDP成長率の内外需別寄与度をみると、実質の内需が1.0%、外需が▲1.0%となった。また名目の内需が0.3%、外需が▲2.2%となった。

